

観光地域づくり法人形成・確立計画（様式1） 記入にあたっての留意点

- ・ 様式1について、本記入要領に従い、簡潔かつ明瞭に記入すること。
- ・ 各項目に設定された枠内に記載内容が収まらない場合は、枠組みを拡大する等して記入すること。
- ・ 各項目の記載枠については、適宜、行や欄の追加等を行ってよい。
- ・ 記入にあたっては、「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」を参照すること。
- ・ 記入にあたっては、各項目について構想段階のものであっても可能とする。ただし、構想段階の項目は、必ず赤字で記入すること。加えて、構想段階の項目については、設定された枠内に、必ず各項目の実現・実行に向けたスケジュール等を明確に赤字で記入すること。

※次ページ以降に記入し、提出すること。

観光地域づくり法人形成・確立計画

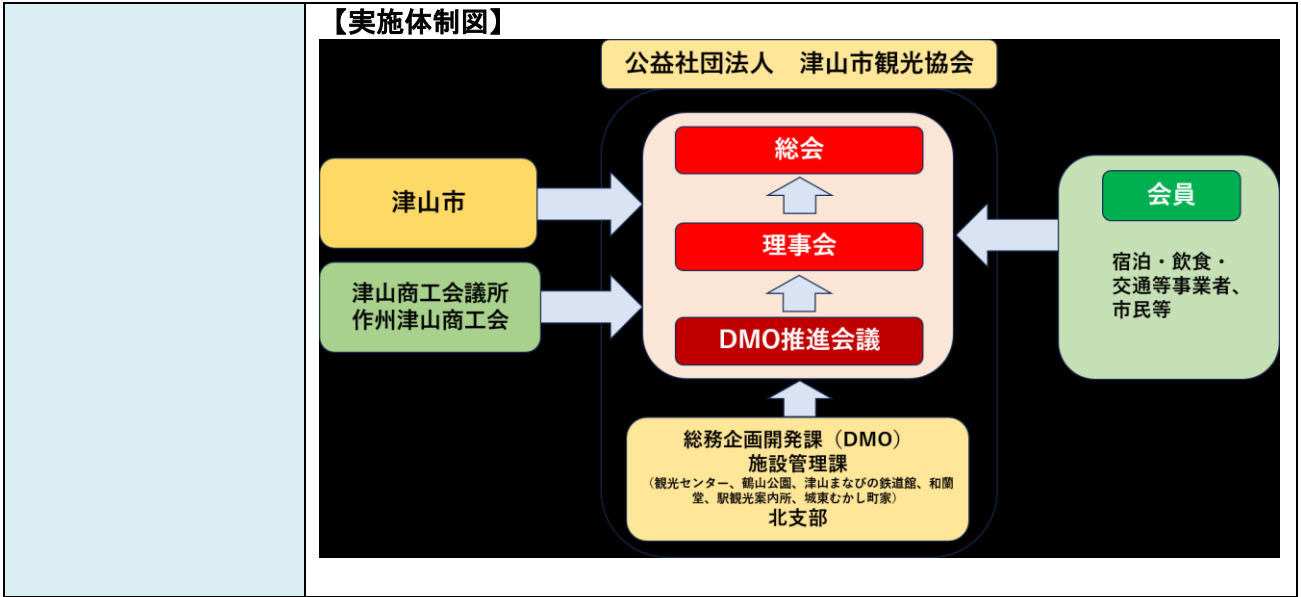
記入日：令和5年 7月27日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO (地域DMO)	
観光地域づくり法人 の名称	公益社団法人 津山市観光協会	
マネジメント・マー ケティング対象とす る区域	区域を構成する地方公共団体名 津山市	
所在地	岡山県津山市山下97番地の1	
設立時期	1957年6月2日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	52人【常勤20人（正職員15人・出向等5人）、非常勤32人】	
代表者（トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者）	（氏名） 松岡 裕司 （出身組織名） 津山信用金庫	信金中央金庫（旧全国信用金庫連合会）に入社、 日本全国・海外勤務を経験し、現在は津山信用金 庫理事長。観光協会・津山市・商工会議所の三者 が手を携え、同じ目標に向かって進んでいく地域 の推進役となっている。
データ分析に基づい たマーケティングに 関する責任者（CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサー）	（氏名） 石橋 孝司「専従」 （出身組織名） 株式会社JTB（出向）	令和5年4月にDMO統括マネージャーに着任。 DMOの総括事業責任者としての役割を担う。 JTBでの勤務経験を活かした市場分析や戦略立案 に基づき歴史的資源の活用や農泊等具体的な事業 を推進する。総合旅行業務取扱管理者。
財務責任者 （CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー）	（氏名） 高務 雅彦「専従」 （出身組織名） 津山市 産業経済部長	平成30年専務理事（兼）事務局長に就任。津山市 職員として長年勤務した経験や人的ネットワーク と統率力を生かし、データ収集や分析に高い能力 を持っている。在任中に、観光ビジョン等各種の 計画策定に従事し、専門性を有している。
プロモーション）の 責任者（専門人材）	（氏名） 高原 晃「専従」 （出身組織名） 西日本旅客鉄道株式会社 （出向）	令和4年4月にDMOマネージャーに着任。鉄道 会社の営業・広報部門での勤務経験を有し、城東 城西地区の歴史資源をはじめとした地域の魅力あ る素材の情報発信と商品造成に取組。JRグルー プとのパイプ役としての強みを発揮する。
着地型コンテンツの 造成・販売）の責任者 （専門人材）	（氏名） 宮村 翔瑠「専従」 （出身組織名） バリューマネジメント株 式会社（出向）	令和5年4月にDMOマネージャーに着任。古民 家ホテル施設での支配人としての勤務経験を有 し、「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業」 において実務経験者としての強みをする。

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>津山市 観光振興課（観光振興施策の実施、マーケティング、プロモーション） 歴史まちづくり推進室（歴史的資源の活用） 文化課（文化財保護・活用） みらいビジョン戦略室（企画戦略） 商業・交通政策課（中心市街地活性化・地域公共交通の連携） つやま産業支援センター（商品開発・ビジネス支援の連携） ビジネス農林業推進室（農林業ビジネス連携） 農業振興課（農産品流通）</p>				
連携する事業者名及び役割	<p>津山旅館組合（MICE 誘致、KPI の分析） 津山観光ボランティアガイドの会（着地型旅行商品の開発・催行） 津山民芸協会（着地型旅行商品の開発） 津山商工会議所（ふるさと名物の開発） 作州津山商工会（ふるさと名物の開発） 津山菓子組合（ふるさと名物の開発） 津山飲食業組合（ふるさと名物の開発） JA 晴れの国岡山津山支店（ふるさと名物の開発） 岡山県タクシー協会津山支部（一次交通の改善） 地域商社曲辰（農泊事業等での連携）</p>				
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】①および②に該当 行政、商工団体、事業者等の多様な関係者が参画している「当協会総会」において、年間及び中期的な事業計画の意志決定を行う。 また、「DMO事業推進会議」を設置し、PDCAサイクルによるより効果的な事業展開を行う仕組みとしている。</p>				
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>地域事業者や市民との連携のもと、各種補助金事業の申請や滞在型観光商品等の造成を図るためのワークショップの開催を行っており、これらを通じて観光地域づくりに取り組んでいる。</p>				
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="464 1395 1436 1982"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1395 646 1442">事業</th> <th data-bbox="646 1395 1436 1442">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1442 646 1982">情報発信・プロモーション</td> <td data-bbox="646 1442 1436 1982"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業 1) 商談会、物産展への参加 ・ 全国放送TV局その他マスコミ各社報道を通じたPR活動、津和野物産展、岡山城「秋のおかやま桃太郎まつり」、晴れの国おかやまオンライン観光商談会の参加。 2) インバウンド対応 ・ 津山台湾デー in まなびの鉄道館イベント(台湾鉄道観光施設、彰化市との国際友好連携構築) ・ 総務省「映像コンテンツを活用した海外地域情報発信」『そこは日本の原風景にあえるまち つやま』による欧米豪及び日本国内対象の情報発信 ・ 農水省「農泊食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN)」認定、及び牛肉食文化を中心とした海外紹介動画撮影の採択。 ・ 地域産品／牛肉駅弁缶開発・販売における食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN) ロゴ活用。 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業 1) 商談会、物産展への参加 ・ 全国放送TV局その他マスコミ各社報道を通じたPR活動、津和野物産展、岡山城「秋のおかやま桃太郎まつり」、晴れの国おかやまオンライン観光商談会の参加。 2) インバウンド対応 ・ 津山台湾デー in まなびの鉄道館イベント(台湾鉄道観光施設、彰化市との国際友好連携構築) ・ 総務省「映像コンテンツを活用した海外地域情報発信」『そこは日本の原風景にあえるまち つやま』による欧米豪及び日本国内対象の情報発信 ・ 農水省「農泊食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN)」認定、及び牛肉食文化を中心とした海外紹介動画撮影の採択。 ・ 地域産品／牛肉駅弁缶開発・販売における食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN) ロゴ活用。
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業 1) 商談会、物産展への参加 ・ 全国放送TV局その他マスコミ各社報道を通じたPR活動、津和野物産展、岡山城「秋のおかやま桃太郎まつり」、晴れの国おかやまオンライン観光商談会の参加。 2) インバウンド対応 ・ 津山台湾デー in まなびの鉄道館イベント(台湾鉄道観光施設、彰化市との国際友好連携構築) ・ 総務省「映像コンテンツを活用した海外地域情報発信」『そこは日本の原風景にあえるまち つやま』による欧米豪及び日本国内対象の情報発信 ・ 農水省「農泊食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN)」認定、及び牛肉食文化を中心とした海外紹介動画撮影の採択。 ・ 地域産品／牛肉駅弁缶開発・販売における食文化海外発信地域 (SAVORJAPAN) ロゴ活用。 				

	<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業 1) 観光庁看板商品創出事業 ・ 津山まなびの鉄道館（旧津山扇形機関車庫）を基軸とした懐かしい鉄道のまちづくり ・ JR因美線沿線での超小型EVレンタル事業実証実験 ・ 令和4年度農泊推進事業 農業体験、産物品具具体事業内容 ・ 公園指定管理事業 津山城（鶴山公園）、衆楽園、津山まなびの鉄道館、黒木キャンプ場 ・ 観光イベント・行事共催等 津山さくらまつり、牛魔王選手権、津山城もみじまつり、 ・ 観光案内所の運営（JNTO外国人観光案内所として体制整備）、加茂インフォメーションセンターの運営 ・ 収益事業 レンタサイクルの貸出、津山観光センター売店地域特産品の販売 ・ 観光ボランティアガイドの確保・育成
	<p>観光資源の磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業 1) 観光庁看板商品創出事業 ・ 観光列車「SAKU美SAKU楽」号の旅行商品造成。 2) 農泊推進事業 ・ 農家民泊、農業体験プログラム造成、農産加工品開発、農産品飲食メニュー開発 3) 着地型商品 城東・城西まちあるき、体験プログラムの磨き上げ
<p>実施体制</p>	<p>【定量的な評価】</p> <p>【実施体制の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津山市観光協会は職員52名。（嘱託職員含む） ・ 指定管理者であり域内交流拠点である「鶴山公園（津山城）」「津山まなびの鉄道館」や体験コンテンツ等を活用し、回遊性を高め、更なる観光振興を図る方針。 ・ 当会会員490名には、行政、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、農業者等多様な関係者が参画しており、合意形成の場となるDMO事業推進会議を通じて、官民が密接に連携した実施体制を構築している。 	



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域



【区域設定の考え方】

津山市は岡山県の北部、津山盆地とその周辺から成り立っており、北は鳥取県と接している。713年の美作国の誕生に伴い国府が置かれて以降、江戸時代には森家、松平家によって津山藩の城下町が形成され、大いに発展した。また、幕末には我が国の近代化の礎を築いた箕作氏・宇田川氏に代表される洋学者等を多数輩出し、我が国の近代化の礎となった。また、山陰と山陽をつなぐ交通の要衝であることから、鉄道記念物に認定された「旧津山扇形機関車庫」などの貴重な鉄道遺産も現存し、新たな観光資源の柱に成長している。

このように、本市には1300年にわたる歴史の中で育まれた、地域固有の歴史と文化、自然、食など、多くの観光資源を有している。

また、平成17年2月に旧津山市・勝北町・久米町・加茂町・阿波村が合併し、津山市観光協会においても、市域全体を活動区域とし、これらの各エリアの地域の資源や魅力を活かした観光誘客に取り組んでいる。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

- ・津山市の観光動態入込客数

平成30年	1,969 千人
令和元年	1,993 千人
令和2年	1,480 千人
令和3年	1,256 千人
令和4年	1,725 千人

- ・宿泊者数

平成30年	201 千人
令和元年	231 千人
令和2年	203 千人
令和3年	232 千人
令和4年	292 千人

- ・一人あたり観光消費額

平成30年度	4,339 円
令和元年度	4,551 円
令和2年度	5,058 円
令和3年度	4,154 円
令和4年度	6,440 円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

※観光資源の活用方法についても記入すること。

ジャンル	観光資源
歴史・文化	城東重要伝統的建造物群保存地区、城西重要伝統的建造物保存地区、衆楽園（旧津山藩別邸庭園）、つやま自然のふしぎ館、津山郷土博物館、津山城下町歴史館、津山洋学資料館、作州城東屋敷、城西浪漫館、作州民芸館、箕作阮甫旧宅、城東むかし町家（旧梶村邸）、M&Y記念館、知新館（旧平沼騏一郎別邸）、上田手漉和紙工場、弥生の里文化財センター、美和山古墳群、加茂町歴史民俗資料館、勝北歴史民俗資料館、勝北陶芸の里工房、久米歴史民俗資料館、三成古墳、PORT ART&DESIGN TSUYAMA

城	津山城（鶴山公園）、岩屋城跡、荒神山城跡、矢筈城跡、嵯峨山城跡、院庄の構城跡、篠山城跡、医王山城跡、神楽尾城跡
神社・仏閣	中山神社、美作総社宮、高野神社、徳守神社、大隅神社、八出天満宮、白加美神社、鶴山八幡宮、愛山東照宮、多聞寺、サムハラ神社、高田神社、萬福寺、作楽神社、千代稻荷神社、福力荒神社、貴布禰神社、広戸神社、愛染寺、石山寺、善應寺、清眼寺、妙法寺、長法寺、本源寺、聖徳寺、千光寺、軒戸神社、金刀比羅神社、真福寺、千磐神社、八幡神社（阿波地域）、八幡神社（勝北地域）、高福寺、新善光寺、長命山「多寶寺」、岩谷山「妙福寺」、五穀寺、久米廃寺跡、岩滝神社
鉄道遺産	津山まなびの鉄道館（旧津山扇形機関車庫と転車台）、美作河井駅手動転車台、松ボウキ橋梁、美作河井駅、知和駅、美作滝尾駅、三浦駅、美作千代駅、SL「C11-80号」津山駅北口広場、みまさかスローライフ列車
自然	布滝、白髪滝、大滝、石山八畳岩、久米川の桜並木、グリーンヒルズ津山のフラワーガーデンと紅葉、津山城もみじの小道、大ヶ山奇岩、大ヶ山鬼の門、トヤの夫婦滝、桐の木水車、ウッドパーク声ヶ峠、吉井川、横野滝、神楽尾公園、神南備山展望台、22世紀の森、尾所の桜、大高下ふるさと村、大ヶ山、深山溪谷、落合溪谷、広戸仙、塩手池公園、梅の里公園、花と溪流の里公園（小滝）、ホタルの里、とんぼの里
レジャー	阿波森林公園、グリーンヒルズ津山、アイスランド津山、奥津川ラビンの里、勝北マルシェ「ほほえみ彩葉」、勝北総合スポーツ公園、黒木キャンプ場、木もれ陽の森、めぐみ荘、ウッディハウス加茂、阿波交流館・あば温泉、ザラントンあば村（グランピング施設）、道の駅「久米の里」
グルメ	養生喰いに代表される食肉文化、和菓子文化、珈琲、津山小麦、つやま生姜
イベント （観光資源の活用）	（春）梅まつり、津山さくらまつり、津山加茂郷フルマラソン、津山城東むかし町、みまさかスローライフ列車、牛魔王選手権、津山城下町雛めぐり （夏）津山納涼ごんごまつり （秋）津山まつり、津山城もみじまつり、みまさかスローライフ列車、城西まるごと博物館フェア、 （冬）作州津山鍋まつり、福力荒神社大祭、萬福寺十三参り （年間）「城東・城西まち歩き」…ツアーとしてボランティアガイド付きまち歩き商品として販売中。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】



宿泊施設区分（令和4年）

施設数	種別	部屋数	収容人数
2	シティホテル	144	268
7	ビジネスホテル	597	838
10	旅館	98	324
2	民宿	20	60
4	公的宿	38	137
3	体験宿泊	7	34～38

【利便性：区域までの交通、域内交通】



○鉄道利用：

J R岡山駅からJ R津山駅まで（津山線快速列車）・・・1時間5分

○ハイウェイバス：

大阪駅から津山駅まで（特急、中国自動車道）・・・2時間40分

東京から津山まで（夜行バス）・・・9時間

新宿から津山まで（夜行バス）・・・9時間15分

J R京都駅からJ R津山駅前まで・・・3時間（運休中）

○自家用車：

大阪吹田ICから津山ICまで（中国自動車道）・・・2時間

米子ICから院庄ICまで（米子自動車道）・・・1時間

広島から院庄ICまで（山陽自動車道～中国自動車道）・・・2時間30分

広島から院庄ICまで（中国自動車道）・・・2時間40分

岡山から院庄ICまで（岡山自動車道～中国自動車道）・・・1時間

高知ICから院庄ICまで

（高知自動車道～瀬戸中央自動車道～岡山自動車道～中国自動車道）・・・3時間

○航空機：

東京ー岡山・・・1時間15分

札幌ー岡山・・・2時間

沖縄ー岡山・・・1時間50分

台湾ー岡山・・・3時間5分（令和5年3月25日～タイガーエア定期便運行再開）

ソウルー岡山・・・1時間30分（コロナ禍で運休中）

上海ー岡山・・・2時間10分（コロナ禍で運休中）

【外国人観光客への対応】

- ・多言語に対応した観光ポータルサイト及び観光パンフレットによる観光情報の提供
- ・観光及び歴史文化スポットでの多言語音声ガイドシステムによるコンテンツ案内の提供（つやま声ナビ）
- ・Wi-Fiスポットによる通信環境の提供
- ・日本政府観光局（JNTO）外国人観光案内所（カテゴリー1）
津山観光センター、津山駅前観光案内所

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設への宿泊統計調査により実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、サービス、商品の改善の戦略立案に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	公式HP「つやま小旅」を活用して実施。
住民満足度	実施せず	実施せず

4. 戦略**（1）地域における観光を取り巻く背景**

津山市は、岡山県北部の中山間地域に位置し、歴史・文化や生活のつながりが深いまちである。人口は減少傾向にあり、特に若者の社会減が顕著となっていることから、地域内循環型の産業によって雇用を生み出すための仕組み作りを進めているが、典型的な中山間地域であり、地勢的にも恵まれているとはいえない当地域にとって、観光は地域経済の発展に重要な役割を果たしている。

しかしながら、津山市は通過型の観光地となっており、観光を稼げる産業としていくためには、滞在型による宿泊客を増加させる必要がある。その一環として、津山市が推し進める「まちじゅう博物館構想」の一事業として取り組む「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業」は、域内の財産である城や城下町等の文化財を保存から活用に転換し、消費額の拡大をはかる事業である。

そこで、地域資源を磨き上げ、連結させることで、インバウンドを見据えた新たな観光サービスを創出する。そして、地域ならではの体験プログラムや誘客促進に取り組むとともに、その推進母体となるDMOを中心として、地域資源のマネジメントや、需要のマーケティングを行いながら、地域ならではの着地型の観光地を目指し、地域と連携して、交流人口を増加させ、地域に賑わいと稼ぐ力を創出していくこととしている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山城を中心とする城下町のまち並み、歴史的資源が豊富。 ・津山まなびの鉄道館の扇形機関車庫の鉄道遺産認定によって注目を集める鉄道資源。 ・ボランティアガイド、鉄道OB会等観光施策を下支えする観光参画予備軍が存在。 ・古くからの牛肉食文化。 ・歴史、桜、鉄道、郷土出身の著名アーティストなどコアなファンを要する観光コンテンツの存在。 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知認識の不足 県内外における観光エリアとしての認識が不足している。 ・人口減少が続き、地域を支える人材が不足している。 ・町屋等の一部で老朽化が進み、建物の保全、立替が必要になってきている。 ・通過型の観光が主であり、宿泊を伴う観光客の滞在時間を延ばす取組が不足している。 ・本市観光の魅力についての情報発信不足。
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山を中心に県北で開催される国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国岡山」(2024年9月～11月) ・「2025年大阪・関西万博」の開催(大阪から日帰りや1泊等ショートトリップで行けるエリア) ・寺巡りやまち歩き等インバウンドを対象とした日本文化体験も取り揃えている。 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客にかかる国内や県内有力観光地との競争激化 ・地域の公共交通の利便性が低く、満足度を引き下げる要因となっている。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 岡山県内および関西圏を含む隣接県のシニア層</p>
<p>○選定の理由</p> <p>・津山市への交通手段は自家用車が圧倒的に多い中、来訪者の居住地は岡山県内に次いで、近隣県である関西圏・中国エリアからのシニア層の比率が高いことから、岡山県内および関西圏を含む隣接県のシニア層をターゲットとする。令和元年度の観光動態調査で1040人にアンケート調査を実施したところ、岡山県内44.0%、兵庫県13.8% 大阪府9.2% 広島8.8%の割合であり、シニア層(50歳以上)が46.3%の結果であった事から選定。</p>
<p>○取組方針</p> <p>・市内駐車場の利便性向上や観光ピーク時の渋滞緩和策の実施が重要であり、また、知名度を向上させていくといった、エリア別の戦略的プロモーションを実施する。</p>
<p>○ターゲット層 F1層(女子旅需要)、F3層(アクティブシニア、時間的余裕がある世代)</p>

<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行への意欲が高く、また、食、歴史などの関心も高い。津山の食文化（肉料理）や歴史（出雲街道沿い城下町エリア）とマッチする。 ・令和元年度観光動態調査においてF1層が13.1%であり、F3層は22.2%と高かったことから選定。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS・HPを活用したプロモーション活動の強化。 ・体験型商品による誘客促進。
<p>○ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人（特に台湾、ほか、中国・韓国・香港、および欧米豪の個人旅行者）
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は城下町に数多く残る歴史的な町並みや自然資源など、インバウンド観光客の関心を惹く観光資源が豊富に存在することから、訪日外国人の誘客に取り組む。令和元年度の岡山県外国人旅行者宿泊者数統計では台湾旅行客の割合が29.2%と多く、次いで中国12.5% 香港15.4%となっており、令和元年の津山市宿泊統計調査でも16.0%と増加中であるために選定した。 また、昨年度映像コンテンツを活用した海外情報発信事業の採択により、英語・仏語版の津山の農泊や各種体験・食事を紹介した動画を作成・配信した経緯と、2024年秋の「晴れの国岡山 森の芸術祭」2025年「大阪・関西万博」の開催を控え、欧米豪の個人旅行者もターゲットとしている。 <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山空港発着の訪日外国人は、現在、台湾が中心であり、今後、訪日外国人の入込客数や宿泊者数の調査を行いさらに絞り込みを行う。 ・「城下町」、「鉄道文化遺産」、「牛肉食文化」など、本市ならではの観光資源をフォーカスしたプロモーションを実施するとともに、HPの多言語化やスマートフォン等を用いた主要施設でのガイダンスシステムの提供等、受入れ体制の整備を強化する。 ・台湾鉄道施設同士の連携強化への取組み（台湾彰化県彰化市「彰化扇形車庫」）

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	歴史・文化を見て・触れて・体験出来る多くのほんものに出会える街 つやま
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲街道の中心に位置する津山には、津山城（鶴山公園）、城東の街並みなど歴史的にも文化的にも多くのほんものの魅力溢れる資源が感じられる街である。また、伝統を引き継ぎ続ける肉文化、鉄道記念物に指定された旧津山扇形機関車庫と転車台を有する津山まなびの鉄道館など魅力的なコンテンツも豊富である。 ・津山を見て、触れて、体験出来るコンテンツを提供するため、滞在型観光商品の造成やプロモーション活動を通じ、津山の魅力を1人でも多くのお客様にお越しいただくとともに、地域の「稼ぐ力」を創出する。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会（5月、11月、3月の年3回実施予定） ・DMO事業推進会議（5月、8月、11月、2月の年4回実施） ・総会（6月、年1回実施）
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・本法人の活動計画と活動内容は、マーケティング調査やアンケートから得られたデータを通じてDMO事業推進会議にて、評価を頂く仕組みとしている。 ・DMOで実施するマーケティング活動で得られたデータ等は、観光協会の総会や理事会でフィードバックし、観光消費の増加のための企画や商品造成の磨き上げを行う。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・津山市観光振興課と常時定例ミーティングを行うとともに連携してSNS、ホームページ等で情報発信をしている。 また、JR西日本のくまなく旅にやんとも連携し地域のイベント様々な情報発信を行っている。

6. KPI（実績・目標）

（1）必須KPI

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度
●旅行消費額 (一人あたり/ 円)	目標	5,000 ()	5,500 ()	6,000 ()	6,500 ()	6,700 ()	6,900 ()
	実績	5,058 ()	4,154 ()	6,440 ()			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	80 (0.2)	210 (0.2)	230 (0.6)	290 (1.2)	300 (1.5)	310 (1.8)
	実績	203 (0.5)	232 (0.4)	292 (0.8)			
●来訪者満足度 (%)	目標	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()
	実績	92.2 ()	93.1 ()	82.1 ()			
●リピーター率 (%)	目標	95.0 ()	95.0 ()	95.0 ()	80.0 ()	80.0 ()	80.0 ()
	実績	96.3 ()	97.8 ()	56.1 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- ・令和元年度津山市観光動態調査のデータを参考に、来訪者満足度、リピーター率に関するデータを調査し、持続性のある観光地経営のための定性的な効果も含めて把握するため「まち・ひと・しごと創成総合戦略」の考え方を踏まえ、本法人の事業戦略に基づく目標値を検討。
- ・DMO事業推進会議などを通して、地域関係者と連携を図りながら、各種調査の分析結果を共有し、津山市での検証も参考に、理事会意見を通して、計画値の見直しを図っていく。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

- ・令和元年度の観光動態調査1人あたり旅行消費額の数値をベースに、500円/年ずつ増やしていく。

●延べ宿泊者数

- ・(国内) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残ったものの、ビジネス需要の回復と全国旅行支援も追い風となり大幅な回復となった。令和5年度には3年に及ぶコロナ禍の自粛ムードが解禁となり、更なる増加が見込まれる。
- ・(海外) 令和4年度は入国制限など新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、国内同様に大幅増となった。令和5年度は国としてコロナ禍明けの大幅なインバウンド需要の回復が見込まれる。岡山空港発台湾定期便も再開となり、当地においても受入態勢の整備と情報発信等によりインバウンド需要の獲得に注力したい。

●来訪者満足度

- ・令和元年の調査結果より、来訪者の満足度が高い水準にある為、引き続き現状維持を目指した活動を行う。

●リピーター率

- ・従来より、リピーター率が高い傾向にあったが、令和4年度より調査時期をGW期間中に変更した結果、関西方面等県外からの新規来訪者層が増えたため、リピーター率は下がる結果となった。今後も、城・城下町や牛肉食文化、地元の各種情報を発信し多くの新規来訪者の獲得に努めるべく、リピーター率は下方修正する。

(2) その他の目標

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度
●ウェブアクセス数 (千回)	目標	1,800 ()	1,900 ()	2,000 ()	1,500 ()	1,500 ()	1,500 ()
	実績	1,466 ()	1,511 ()	1,218 ()			
●立寄り箇所数 (箇所)	目標	2.0 ()	2.1 ()	2.2 ()	2.0 ()	2.0 ()	2.0 ()
	実績	1.4 ()	1.4 ()	2.0 ()			
●平均滞在時間 日帰り (時間)	目標	3.50 ()	3.60 ()	3.70 ()	3.90 ()	4.00 ()	4.00 ()
	実績	2.93 ()	2.84 ()	3.90 ()			

●鶴山公園来園者数 (千人)	目標	45 ()	75 ()	150 ()	180 ()	180 ()	180 ()
	実績	103 ()	92 ()	240 ()			
●まなびの鉄道館来館者数 (千人)	目標	12 ()	30 ()	40 ()	55 ()	60 ()	60 ()
	実績	36 ()	37 ()	58 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・「津山ブランド」の情報発信と来訪者の受入体制を強化することが重要課題であると考えており、今後事業展開を予定している「(着地型)旅行業」を契機に、来訪者の増加を狙うべく計測指標とした。

【設定にあたっての考え方】

●ウェブサイトアクセスユーザー数

お客様の情報収集手法が、インスタグラム、ツイッター、FB等SNSの方の比重が大きくなっており、協会としても、ホームページの機能は改善・継続しつつも、SNSの方に注力するため下方修正した。

●立寄り箇所数

令和5年度はコロナ前水準「2.0」箇所を目指す。

●平均滞在時間（日帰り客）

令和5年度はコロナ前水準「3.9」時間を目指す。

●鶴山公園来園者数（指定管理施設）

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響が若干残るものの、一定の回復が見込まれる。しかしながら令和4年度は「春の津山さくらまつり」の桜の開花時期が早まり、4年度に傾斜した結果であり、5年度も桜の開花時期如何により集客が次年度へ移行となることも想定され、令和4年度実績より下方修正した。

●津山まなびの鉄道館（運営施設）

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響が若干残るものの、一定の回復が見込まれ、コロナ前の水準に戻ると考える。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳(具体的に記入すること)
2020(R2) 年度	221,339,167(円)	【会費収入】 5,648,000(円) 【指定管理収入】 21,043,852(円) 【その他事業収入】 113,356,729(円) (うち市からの受託料収入) 41,244,998(円) 【受取地方公共団体補助金】 78,650,177(円) 【その他の収入】 2,640,409(円)
2021(R3) 年度	194,496,862(円)	【会費収入】 6,200,500(円) 【指定管理収入】 41,641,114(円) 【その他事業収入】 83,726,570(円) (うち市からの受託料収入) 13,102,257(円) 【受取地方公共団体補助金】 60,191,880(円) 【その他の収入】 2,736,798(円)
2022(R4) 年度	273,593,157(円)	【会費収入】 5,790,000(円) 【指定管理収入】 19,851,148(円) 【その他事業収入】 175,215,099(円) (うち市からの受託料収入) 41,399,220(円) 【受取地方公共団体補助金】 69,259,709(円) 【その他の収入】 3,477,201(円)
2023(R5) 年度	182,257,000(円)	【会費収入】 6,009,000(円) 【指定管理収入】 25,973,000(円) 【その他事業収入】 109,673,000(円) (うち市からの受託料収入) 12,298,000(円) 【受取地方公共団体補助金】 39,001,000(円) 【その他の収入】 1,601,000(円)
2024(R6) 年度	202,000,000(円)	【会費収入】 6,000,000(円) 【指定管理収入】 27,500,000(円) 【その他事業収入】 110,000,000(円) (うち市からの受託料収入) 14,000,000(円) 【受取地方公共団体補助金】 55,000,000(円) 【その他の収入】 3,500,000(円)
2025(R7) 年度	204,000,000(円)	【会費収入】 6,000,000(円) 【指定管理収入】 27,500,000(円) 【その他事業収入】 111,000,000(円) (うち市からの受託料収入) 15,000,000(円) 【受取地方公共団体補助金】 56,000,000(円) 【その他の収入】 3,500,000(円)

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)	
2020 (R2) 年度	208,810,250 (円)	公益【観光振興事業】	50,528,134 (円)
		【誘客受入対策事業】	39,669,254 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	78,106,062 (円)
		収益【販売事業】	19,120,972 (円)
		【施設管理事業】	17,040,890 (円)
		法人【管理費】	4,344,938 (円)
2021 (R3) 年度	187,236,904 (円)	公益【観光振興事業】	52,249,707 (円)
		【誘客受入対策事業】	17,241,628 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	77,484,761 (円)
		収益【販売事業】	19,299,030 (円)
		【施設管理事業】	15,931,817 (円)
		法人【管理費】	5,029,781 (円)
2022 (R4) 年度	250,954,904 (円)	公益【観光振興事業】	74,286,771 (円)
		【誘客受入対策事業】	39,380,880 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	84,499,930 (円)
		収益【販売事業】	20,337,573 (円)
		【施設管理事業】	26,309,583 (円)
		法人【管理費】	6,140,167 (円)
2023 (R5) 年度	195,100,000 (円)	公益【観光振興事業】	64,000,000 (円)
		【誘客受入対策事業】	16,000,000 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	74,500,000 (円)
		収益【販売事業】	19,500,000 (円)
		【施設管理事業】	16,500,000 (円)
		法人【管理費】	4,600,000 (円)
2024 (R6) 年度	198,300,000 (円)	公益【観光振興事業】	64,500,000 (円)
		【誘客受入対策事業】	16,500,000 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	75,500,000 (円)
		収益【販売事業】	20,000,000 (円)
		【施設管理事業】	17,000,000 (円)
		法人【管理費】	4,800,000 (円)
2025 (R7) 年度	201,500,000 (円)	公益【観光振興事業】	65,000,000 (円)
		【誘客受入対策事業】	17,000,000 (円)
		【公園・キャンプ場等管理事業】	76,500,000 (円)
		収益【販売事業】	20,500,000 (円)
		【施設管理事業】	17,500,000 (円)
		法人【管理費】	5,000,000 (円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・DMO事業計画、及び予算計画に基づく津山市からの補助金予算の拡充。
- ・指定管理業（物販含む）、旅行業（滞在型観光プログラム）等の積極的な推進。
- ・DMO活動の成果を基にした新規会員の獲得
- ・国の地方創生関連補助金、各種公募案件の獲得による事業基盤強化
- ・地域金融機関との連携（津山信用金庫、中国銀行等）

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

--

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

重複しない。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	石橋 孝司
担当部署名（役職）	DMO統括マネージャー
郵便番号	708-8501
所在地	岡山県津山市山北 663 津山市役所東庁舎 3階
電話番号（直通）	0868-35-0033
FAX番号	0868-35-0755
E-mail	k.ishibashi@tsuyamakan.jp

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岡山県津山市
担当者氏名	小林 貴之
担当部署名（役職）	観光文化部 観光振興課 課長
郵便番号	708-8501
所在地	岡山県津山市山北 663
電話番号（直通）	0868-32-2082
F A X 番号	0868-32-2154
E - m a i l	kankou@city.tsuyama.lg.jp

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名（役職）	
郵便番号	
所在地	
電話番号（直通）	
F A X 番号	
E - m a i l	

記入日: 令和5年7月27日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】 岡山県津山市
 【設立時期】 1957年6月2日
 【設立経緯】 ③区域の観光協会がDMOに移行
 【代表者】 松岡 裕司
 【マーケティング責任者(CMO)】 石橋 孝司
 【財務責任者(CFO)】 高務 雅彦
 【職員数】 52人(常勤20人(正職員15人・出向等5人)、非常勤32人)
 【主な収入】
 収益事業 195百万円、委託事業 72百万円(令和4年度決算)
 【総支出】
 事業費 247百万円、一般管理費 6百万円(令和4年度決算)
 【連携する主な事業者】
 津山市及び周辺市町村、各観光関連団体及び事業者

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	5,000 ()	5,500 ()	6,000 ()	6,500 ()	6,700 ()	6,900 ()
	実績	5,058 ()	4,154 ()	6,440 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	80 (0.2)	210 (0.2)	230 (0.6)	290 (1.2)	300 (1.5)	310 (1.8)
	実績	203 (0.5)	232 (0.4)	292 (0.8)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()	88.0 ()
	実績	92.2 ()	93.1 ()	82.1 ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	95.0 ()	95.0 ()	95.0 ()	80.0 ()	80.0 ()	80.0 ()
	実績	96.3 ()	97.8 ()	56.1 ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
 ・岡山県内および関西を含む隣接県のシニア層
 ・F1層(女子旅需要)、F3層(アクティブシニア)
 ・訪日外国人(台湾、香港、中国、韓国、欧米豪)
 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
 ・津山市基本戦略「津山まちじゅう博物館構想」と連動した「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業」実現
 【観光地域づくりのコンセプト】
 「歴史・文化を見て・触れて・体験出来る多くのほんものに出会える街 つやま」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
 ・観光庁「看板商品創出事業」まなびの鉄道館の整備、観光列車商品造成
 ・農泊推進による商品造成(農業体験、加工品、飲食メニュー等)
 ・鉄道による台湾との国際交流・連携
 ・津山城城下町泊及びまちづくり推進計画(仮称)策定のための調査事業実施
 【情報発信・プロモーション】
 ・SNSでの情報発信強化(津山市、JR西日本くまなく旅にゃんととの連携)
 ・SAVORJAPAN認定による牛肉食文化・地域情報の発信
 ・映像コンテンツ海外発信事業採択によるフランス向け動画配信
 【その他】
 ・商品開発:お土産缶詰「牛肉駅弁缶」(SAVORJAPANロゴ入り)

